

証が試みられている。

4. まとめ

近年の長足の進歩によりCTやMRは、腎疾患の診断において、従来からの造影X線検査（血管造影、排泄性尿路造影など）を置換してきた。腎腫瘍の質的診断、病期診断、腎動脈評価においても、CT・MRは超音波より優位だが、超音波は低コストで手軽であるため、置換するのは難しい。特に、腎不全、腎障害評価、腫瘍の検診といった領域において、超音波の有用性は明らかである。今後CTの低被曝化が進み、疾患リスクの層別化が血液検査などでより

精緻に行えるようになれば、低リスク群には超音波を、高リスク群に対してはCTをスクリーニング検査として用い、MRを補助的に代替するという新たな診断体系も考えられる。

参考文献

- 1) 陣崎雅弘ほか：マルチスライスCTが放射線診療に与えるインパクト—心臓以外の領域—。日獨医報50（3）：500-506, 2005.
- 2) 陣崎雅弘：腎腫瘍の画像診断の現状。泌尿器外科24（特増）：710-712, 2011.

お知らせ

研修会等への託児サービス併設費用の助成について

当会では、育児中の女性医師などに対し、学習する機会を確保することにより、勤務継続や復職の支援を行うことを目的に、**全道規模の専門医会等**が主催・後援する会議や研修会などにおいて託児サービスを併設した場合の費用として2万円を上限に助成することといたしております。

つきましては、該当の会議、研修会等がございましたら、当会事業第五課までご連絡くださいますようお願いいたします。

助成基準

1. 対象 全道規模の専門医会等が主催・後援する会議、研修会、講演会など
【助成内容】託児室利用料、保育料、交通費
(遊具・おやつ・おむつ等購入代は対象外)
2. 期間 平成23年4月～平成24年3月実施分
3. 助成額 2万円を限度として実費を助成いたします。
4. 申請方法 領収書の写し等を添付の上、所定の用紙*によりご申請ください。
※ 下記連絡先までご請求願います。

《連絡先》 北海道医師会事業第五課
〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1434 (直通) FAX 011-241-3090 E-mail: 5ka@m.douji.jp